



校長 大森 康充

あと二ヶ月

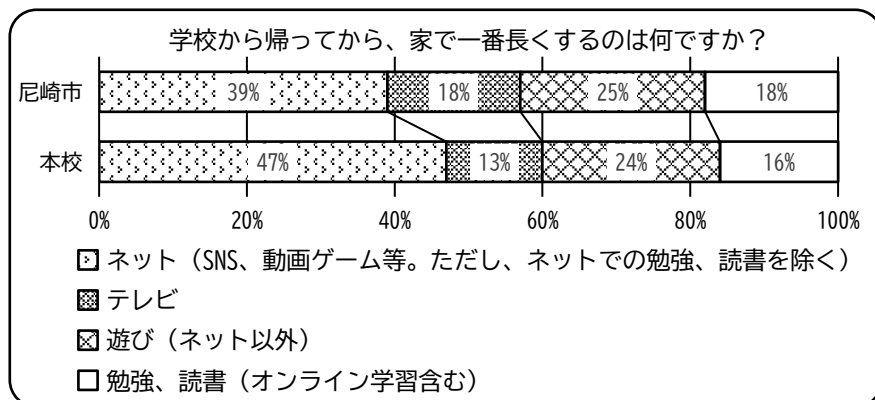
暦の上では間もなく立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いています。校庭に吹く冷たい風の中でも、子どもたちは元気に走り回り、教室からは学びに向かう真剣な声が聞こえてきます。その姿に、心が温くなる思いです。

さて、令和8年がスタートして早一ヶ月が過ぎ、3学期も残り二ヶ月となりました。2月には新1年生入学説明会や児童会役員選挙の実施など、来年度に向けた取組が動き始めます。また、6年生はこれから3月の卒業に向けて行事が目白押しです。一日一日を大切に、小学校生活の集大成を有意義に過ごしてほしいと思います。さらに、全ての学年において、これから「あまっ子ステップ・アップ調査」の調査結果が返ってきます。この1年間の学びを締めくくる大切な時期を迎え、子ども達が自信を持って次のステップへ進めるよう、私達教職員も、一丸となって子ども達を励まし、支えてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

スマホ依存に注意しましょう！

児童生徒におけるスマートフォンをはじめとする情報端末機器の所持率は全国的にも増加傾向にあり、ネットの利用時間や生活環境におけるネットとの関わり方などが課題となっています。そこで、市内の児童生徒の現状を把握するため、昨年6月に小学校3～6年生、中高生を対象としたアンケートが実施されました。この度、そのアンケートの結果が出ましたので、気になったものをご紹介します。

右のアンケートからは、本校の児童のうち、家庭で一番長くするのがネット閲覧であるという児童の割合が市内平均と比較して多くなっていることがわかります。一方で、一番長くするのが勉強・読書であるという児童の割合は、市内平均より少なくなっています。



本校では、SNS等を通じた児童どうしのトラブルがここ数年、毎年のように見られるようになってきました。同時に、今年度の全国学力・学習状況調査の結果等から、学習面においては今後より一層の努力が必要であるという状況です。学校といたしましては、今回のアンケート結果を踏まえ、今後も様々な教育活動を通してスマホやネットの適切な活用等について啓発を行ってまいります。ご家庭でも今一度、このことについてお子様と話し合われてはいかがでしょうか。





まず、個人票には教科別の正答率や結果をもとにした学習のポイント等が個別に記載されており、また、裏面にはアンケート調査のうち、学力の伸びと関係が深い質問に対する結果が記載されており、日頃の学習習慣を振り返る良い機会となります。他にも、一人ひとりに応じた復習プリントが配布されます。ご家庭におかれましては、個人票等をご覧になってお子様の「よいところ」や「努力の必要なところ」等を把握していただき、今後の目標等についてお子様とよく話し合い、家庭学習の充実につなげていただきたいと思います。学校においても、復習プリント等に着実に取り組ませ、その学年で学んだことはその学年のうちにしっかりと身につけさせるよう努めてまいります。また、学校・学年全体の結果につきましても、全国学力・学習状況調査同様に分析を行い、今後の学力向上に向けた取組に生かしてまいります。

